

「現象」から「意識」へ 新しい風景を観る

永田 円了

「現象」とは、

- 出来事の表層のみに目を向ける
- 出来事を一般論として捉える
- 出来事の中に意味を観ない

「意識」とは、

- 出来事を象徴的に捉える
- 出来事の中に意味を観る
- 出来事の中に具体的な問いかけを聴く



モノは心の影なり

西田幾多郎

「現象」(本の知識、一般論) から 「意識」(現場での具体的な問いかけ) へ



サルに自意識はあるか - ない、 サルに痛みはあるか - ない
では、人間の場合はどうか、 -- 人間の場合、身体的苦痛が心理的に増幅され

ユング： 元型 / 犠牲者、 子ども、 つぶし屋、 売春

元型:犠牲者

影の特性
自分はひどい目にあった。私の過去はさんざんだ。私は何をしても許される権利がある。自分の中に閉じこもり、過去を恨み、最終には自分も人も怨念の火で焼き尽くす。

光の特性
自分の過去は今の自分がよりよく生きるために起こったこと。過去から学び、感謝で毎日を生きる。人のことが理解できる。



元型:子ども

影の特性
成長すること、責任をもって生きることが拒否する。完全主義に走る。安定と安全については、べつたり他者依存する。思うようにならない時は、けんかになり、暴力が加わり、最終には自他共に、凄惨極まる自害と殺戮に向かう。

光の特性
身体も、心も、魂も年をとらないで生きる。新鮮な目で世界をみる。理想に燃え、物語を語り、人を動かし、世界を動かす。



元型:つぶし屋

影の特性
できない理由を並べたてる。自分がどうしてできないか、やらないかを論理付けして説明する。自分、人の成長の機会を望み、最終には、嫉妬の火で自分も人も焼き尽くす。

光の特性
怖いからやってみる。行ったことがないからやってみる。やったことがないから、やってみる。今まで失敗したから、今回は成功するかもしれない。恐がりだから、冒険をする。



元型:売春婦(夫)

影の特性
食べていくためには何でもする。金のためには何でもする。生き残るためには、あらゆる手段は正当化される。最終的には狂気の針らいの中で、自他共に崩壊する。

光の特性
サバイバルの大切さを知っている。どんな生活状況にあっても、自分の価値を売りとはすことなく食べていける現場に強い。生活力は旺盛。



元型とのつき合い方：

自分の間から逃げない / 自分の間と戦わない / その場に踏みとどまって、自分の間をじっくり観察する
意識を過去の記憶背景にハイジャックされないためには、自ら新しい風景を創ること